

1 県民活動への理解や参加の促進

< 各事業の概要及び進捗状況 >

1 県民活動への理解や参加の促進

活動に対する関心が高まっている一方で参加につながっていないという現状等を踏まえながら、様々な形で広報・普及啓発を行うだけでなく、より多くの県民が参加機会を得られるよう、活動体験の場と機会の提供に努めます。

【成果指標】

目標項目	現 状 (29年度)		H30年度	R元年度	R2年度
[指標1-1] 市民活動団体、ボランティア活動に関心がある人の割合	41.9% ¹	目標	46.0%	50.0%	55.0%
		結果	45.1%	48.9%	
		目標比	-0.9p	-1.1p	
		前年比	+3.2p	+3.8p	
[指標1-2] ボランティア活動に参加したことのある人の割合	33.9% ¹	目標	36.0%	38.0%	40.0%
		結果	28.2%	43.6%	
		目標比	-7.8p	+5.6p	
		前年比	-5.7p	+15.4p	

1 第54回県政に関する世論調査結果より

(1) 県民活動の普及啓発の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
1	千葉県ホームページでの情報発信 (県民生活・文化課)	県ホームページの特設サイト「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」において、NPO法人情報及び県のNPO・ボランティア関連施策情報、民間団体からの助成情報等を掲載します。 また、ボランティア関連情報のページに、各種ボランティアの募集情報や東京オリンピック・パラリンピック関連情報、災害ボランティア関連情報等を掲載します。	「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページビュー数 900,000件
2	NPO・ボランティア情報マガジンの配信 (県民生活・文化課)	NPO・ボランティア活動関連の各種事業やイベントなどの情報を随時配信します。 また、ボランティア活動の参加を促す効果的な情報発信の方法について検討します。	年24回 (月2回)配信
3	県民活動情報オフィスの運営 (県民生活・文化課)	県庁本庁舎2階の「県民活動情報オフィス」において、NPO法人の縦覧及び閲覧、NPO法人の設立時の各種相談、NPO・ボランティア関連情報の提供、ミーティングルーム等の貸出等のサービスを提供します。	オフィス利用者数 1,500名

No.	事業名	事業概要	実施目標
4	県民向け市民活動・ボランティア普及啓発 (県民生活・文化課)	市民活動の基礎知識等を掲載したリーフレットや、各種普及啓発用グッズを様々な機会を捉えて配布し、県民活動の普及啓発を行います。	各種行事への出展 3回
5	都市ボランティアの募集・運営 (県民生活・文化課)	東京2020大会開催時及びその前後の期間において、会場最寄駅や主要駅、空港などで本県を訪れる旅行者等に対して、交通案内や観光案内等の「おもてなし」を行う「都市ボランティア」を募集し、関係市町と連携し運営を行います。 さらに、東京2020大会に向けた取組を一過性のものとせず、醸成した機運や活動の継続などを県全域に波及させ、大会後のレガシー(持続的効果)として、ボランティア活動の更なる発展につなげることを目指します。	機運維持のための取り組みを実施します。 メルマガ配信24回 Facebook投稿60回
6	県民活動PR月間の実施 (県民生活・文化課)	NPO法施行日である12月1日前後の1カ月(11/23～12/23)を「ちば県民活動PR月間」とし、県民にNPO・ボランティア活動を知ってもらい、活動への参加に繋がるようなイベントを行う市町村や市民活動団体へ広報支援を行います。	ちば県民活動PR月間賛同行事 20件
7	出前説明会等の実施 (県民生活・文化課)	NPOやボランティアの基礎知識、県の施策状況などについての説明会を県内各地に赴き、実施します。	開催 5回 オンラインでの開催を検討します。
8	法人化説明会の実施 (県民生活・文化課)	NPO法人格の取得を検討している方を対象に、NPO法人制度や設立手続についての説明会を千葉市と共催で月1回開催します。また、うち4回は夜間に開催します。	開催 12回
9	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業 (警察本部生活安全総務課)	自主防犯活動に意欲のある若い世代(県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満)により若手防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」を結成し、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図ります。 また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施します。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
10	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業 (警察本部生活安全総務課)	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施します。 その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催します。 さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施します。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。

(2) 県民活動を体験する機会の提供

No.	事業名	事業概要	実施目標
11	ボランティア活動への参加促進 (県民生活・文化課)	県全体のボランティア活動の推進を図るため、活動体験等を通じた地域のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行う事業を実施します。	2事業
12	ボランティアセンター・市民活動支援センター交流会の開催 (県民生活・文化課)	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催します。	開催 2回 参加人数各40名
13	#ちよいボラキャンペン (県民生活・文化課)	都市ボランティアに募集条件等で参加できない児童・生徒等に対して『ちょっとしたことでも「おもてなし(ボランティア)」はできる』ということを体験してもらい、「おもてなしの心」や「共生」などについて肌で感じ、その後の様々なボランティアやその他活動への参加意識を醸成することを目的としています。 本キャンペーンにより、児童・生徒の家族や親、友人、学校や各種団体等、多世代の様々な主体が関わるができる仕組みを実施することで、オール千葉でのおもてなしに寄与します。	#ちよいボラ 報告20件
14	都市ボランティア体験プログラムの募集・運営(再掲) (県民生活・文化課)	東京2020大会において、募集条件等から都市ボランティアとして参加できない若い世代である生徒(中高生)などが、都市ボランティアへ参加・体験することで、「おもてなしの心」や「異文化交流」、「共生」について肌で感じ、その後の様々なボランティアやその他活動への参加意識を醸成します。 なお、活動エリアは千葉市・一宮町・成田市・成田空港とします。	機運維持のための情報発信を2回程度行います。

No.	事業名	事業概要	実施目標
15	地域と連携した福祉教育の推進 〔健康福祉指導課〕	県民の福祉に対する理解と関心を深め、福祉活動への自発的な参加意欲を醸成するため、 ・小・中・高校を対象に福祉教育推進校を指定 ・福祉教育研究県大会及び福祉教育推進員養成研修を実施します。	新たな推進校の指定を行います。 福祉教育研究県大会の開催を行います。 福祉教育推進員養成研修の実施を行います。
16	ボランティア活動の振興(ボランティア振興事業) 〔健康福祉指導課〕	ボランティア等の民間福祉活動の育成発展を図るため、各種ボランティア研修事業等を行う千葉県ボランティア・市民活動センターの運営や研修事業を補助します。	千葉県ボランティア市民活動センターの運営事業補助を行います。 研修事業補助(ボランティア・市民活動コーディネーター研修、リーダー研修、新たな担い手育成セミナー)を行います。
17	高校生のためのボランティア体験講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティア活動に関心のある千葉県内の高等学校に在学している者を対象に、様々な分野のボランティアについての講義と演習を実施します。	開催4日間 実習7時間以上 4会場参加数計140名
18	体験活動ボランティア活動入門講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	体験活動やボランティア活動を始めたいと思っている方や興味のある方を対象に、体験活動やボランティア活動の基本や身近にできるこれらの活動について学ぶ講座を開催します。	開催1回 参加数30名
19	体験活動ボランティア活動実践講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	体験活動やボランティア活動の意義、プログラム企画立案、運営上の留意点などを体験的に学ぶことで、実践的技術の向上を図ります。	開催1回 参加数30名
20	教育支援実践研究交流会 〔さわやかちば県民プラザ〕	教育支援を行っているNPOやボランティア団体等を対象に、事例研究や講演、情報交換を通し、資質向上や参加者間のネットワーク構築を図ります。	開催1回 参加数100名
21 〔新〕	ちば子ども大学(未来へのパスポート～ぶちボラしませんか～) 〔さわやかちば県民プラザ〕	ちば子ども大学事業で実施する講座のうちの1講座で、小学校4年生から中学3年生を対象に、ボランティア活動家からの学びを得た後「ぶちボラ」で最初の1歩を踏み出すことにより、ボランティアへの意欲向上を図ります。	開催1日間 参加数30名

2 地域コミュニティを支える人材づくり

県民活動を通じた人材育成を促進するため、様々な分野での活動の機会の創出やノウハウを学ぶ場づくりを行います。併せて、東京2020大会を契機として共生社会を担う人材の育成を図ります。

【成果指標】

目標項目	現 状 (29年度)		H30年度	R元年度	R2年度
[指標2-1] ボランティア活動に継続して参加している人の割合	10.1% ²	目標	13.0%	16.5%	20.0%
		結果	8.9%	17.2%	
		目標比	-4.1p	+0.7p	
		前年比	-1.2p	+8.3p	

1 第54回県政に関する世論調査結果より

(1) 様々な県民活動で活躍する人材づくり

No.	事業名	事業概要	実施目標
22	次世代ボランティア人材育成事業 (県民生活・文化課)	地域コミュニティを構成する様々な主体が、連携・協働しながら、地域を担う次世代のボランティア人材を、効率的かつ持続的に育成することを狙いとして、市民活動団体等から企画提案を募集しています。	市民活動団体等からの企画提案に沿った事業を実施します。
23	コーディネータースキルアップ講座 (県民生活・文化課)	市民活動支援センター、ボランティアセンタースタッフのコーディネーションスキル向上を目的としたセミナーを開催します。	開催 2回
24	災害時外国人サポーター養成講座 (国際課)	災害時における外国人支援として、外国語通訳や避難所での対応の仕方など外国人支援を行うサポーター養成講座を開催します。	開催 3回
25	災害対策コーディネーターの養成 (防災政策課)	地域の防災活動や災害時の支援活動において中心的な役割を担う「災害対策コーディネーター」など、地域の防災リーダーを養成する市町村の取組について、「千葉県地域防災力向上総合支援補助金」の活用等により支援します。	災害対策コーディネーターの増加を図ります。

No.	事業名	事業概要	実施目標
26	災害対策コーディネータースキルアップ講座 〔防災政策課〕	災害対策コーディネーターが、広域的な連携・協力関係を築き、より実践的な防災知識を習得するため、災害対策コーディネータースキルアップ講座を開催します。	開催 1回
27	コミュニティソーシャルワーカー(CSW)育成事業 〔健康福祉指導課〕	地域福祉活動を担う方を対象とする「基礎研修」、社会福祉等に係る個別支援又は相談支援を担う方を対象とする「専門研修」、専門研修の修了者を対象とする「フォローアップ研修」を実施し、地域において活躍する人材の育成・スキルアップを図ります。	基礎研修 定員150名以上 複数回の開催の場合は合計 専門研修 定員80名以上 複数回の開催の場合は合計 フォローアップ研修 定員20名以上 複数回の開催の場合は合計
28	千葉県生涯大学校における地域を担う人材の育成 〔高齢者福祉課〕	高齢者が地域の様々な問題解決に向け、専門性を身につけ、地域活動の担い手として活躍することができる人材を養成します。	入学者数の増加を図ります。
29	元気高齢者活躍サポート事業 〔高齢者福祉課〕	高齢者の社会参加を促し、高齢者が地域の担い手として活躍できるよう生活支援の担い手の養成等を行う事業に対し補助を行います。	養成人員400名
30	食生活改善推進員研修事業 〔健康づくり支援課〕	地域で活動している食生活改善推進員(以下「推進員」という。)に対し、教育研修を開催し資質の向上を図るとともに、推進員や一般県民を対象とした各種料理教室等を開催することによって県民の食生活の改善を推進します。	地域別研修の開催11回 中央研修会の開催1回360名 一般財団法人日本食生活協会が実施する研修会等への推進員の派遣 推進員や一般県民を対象とした各種料理教室等の開催110回
31	がん検診推進員育成講習会事業 〔健康づくり支援課〕	各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等に対し講習会を行い、「がん検診推進員」として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を目指します。	年6回の講習会を開催し、がん検診推進員の増員を図ります。

2 地域コミュニティを支える人材づくり

No.	事業名	事業概要	実施目標
32	精神保健福祉ボランティア育成事業 (障害者福祉推進課)	現在活動中の「精神保健福祉ボランティア」及び「心の保健医療通訳ボランティア」を対象に、フォローアップ講座や研修会を開催します。(精神保健福祉センターにおいて実施)	精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座の開催を行います。 (精神保健福祉担当者研修と兼ねて開催) 心の保健医療通訳ボランティア講座の開催を行います。
33	ちば食育ボランティアの活動支援 (安全農業推進課)	ちば食育ボランティアに対する基礎研修とスキルアップ研修を行います。(ちば食育ボランティア登録者数3,810名 令和2年5月末現在)	ちば食育ボランティア研修会 年度内開催 2回 参加数50名×2回
34	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業 (生涯学習課)	学校と地域が連携して、地域コミュニティを構築し、地域の子供たちを地域で育てていくため、学習支援や環境整備、登下校時の見守りなど、地域と学校が連携・協働して行う活動や学習が遅れがちな中学生等を対象とした原則無料の学習支援など、地域学校協働活動を推進します。 そのため、地域学校協働活動推進員や協働活動サポーターを養成する研修会を開催します。	地域学校協働本部がカバーする小中学校の割合を令和元年度より上昇させます。 (政令市・中核市は除く) R1実績:24市町226本部 328校(カバー率38.9%)
35	放課後子供教室推進事業 (生涯学習課)	すべての子供を対象として、放課後や土曜日等に小学校の余裕教室等を活用し、安全に配慮しながら地域住民の参画を得て、交流活動等に取り組むなど、心豊かで健やかな子供の育成を目指します。 そのため、コーディネーターや協働活動サポーターを養成する研修会を開催します。	放課後子供教室がカバーする小学校の割合を令和元年度より上昇させます。(政令市・中核市は除く) R1実績:31市町250教室 205校(カバー率35.8%)で実施
36	「読み聞かせボランティア入門講座」の開催 (中央図書館)	絵本の読み聞かせについての講演及び参加者による実演と講師のアドバイス等を行い、読書の重要性や本の選び方、読み聞かせの方法など、実践に役立つスキルを学ぶ講座を実施します。	開催 2回 参加者80名

(2) 東京2020大会を契機とした人材づくりとレガシーの創出

No.	事業名	事業概要	実施目標
37 再掲	都市ボランティアの募集・運営 (県民生活・文化課)	東京2020大会開催時及びその前後の期間において、会場最寄駅や主要駅、空港などで本県を訪れる旅行者等に対して、交通案内や観光案内等の「おもてなし」を行う「都市ボランティア」を募集し、関係市町と連携し運営を行います。 また、東京2020大会に向けた取組を一過性のものとせず、醸成した機運や活動の継続などを県全域に波及させ、大会後のレガシー(持続的効果)として、ボランティア活動の更なる発展につなげることを目指します。	機運維持のための取り組みを実施します。 メルマガ配信24回 Facebook投稿60回
38 再掲	#ちよいボラキャンペーン (県民生活・文化課)	都市ボランティアに募集条件等で参加できない児童・生徒等に対して『ちょっとしたことでも「おもてなし(ボランティア)」はできる』ということを体験してもらい、「おもてなしの心」や「共生」などについて肌で感じ、その後の様々なボランティアやその他活動への参加意識を醸成することを目的としたキャンペーンを展開しています。 本キャンペーンにより、児童・生徒の家族や親、友人、学校や各種団体等、多世代の様々な主体が関わることができる仕組みを実施することで、オール千葉でのおもてなしに寄与します。	#ちよいボラ 報告20件
39 再掲	都市ボランティア体験プログラムの募集・運営(再掲) (県民生活・文化課)	東京2020大会において、募集条件等から都市ボランティアとして参加できない若い世代である生徒(中高生)などが、都市ボランティアへ参加・体験することで、「おもてなしの心」や「異文化交流」、「共生」について肌で感じ、その後の様々なボランティア活動への参加意識を醸成します。 (千葉会場・一宮会場・成田市内・成田空港の各エリアで活動します。)	機運維持のための情報発信を2回程度実施します。

3 市民活動団体等の基盤強化等の支援

3 市民活動団体等の基盤強化等の支援

市民活動団体等の抱える人材面、資金面の課題に対して適切な支援を行うことのできる中間支援組織の支援や民が民を支える仕組みの普及を通じて、団体が持続的に活動できる環境整備に向けた基盤強化等を図ります。

【成果指標】

目標項目	現 状 (29年度)		H30年度	R元年度	R2年度
[指標3-1] 市民活動団体の活動へ参加 (活動・寄附・支援)している人の割合	32.8% ¹	目標	34.0%	35.5%	37.0%
		結果	28.3%	31.6%	
		目標比	-5.7p	-3.9p	
		前年比	-4.5p	+3.3p	
[指標3-2] 寄附を受けたことがあるNPO法人の割合	59.4% ²	目標	60.0%	60.0%	60.0%
		結果	56.5%	54.2%	
		目標比	-3.5p	-5.8p	
		前年比	-2.9p	-2.3p	

1 第54回県政に関する世論調査結果より

2 千葉県NPO法人実態調査結果より

(1) 市民活動団体等の組織運営力等の向上支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
40	市民活動団体マネジメント事業 (県民生活・文化課)	市民活動団体が安定的・継続的に活動していくために必要な運営能力の向上を図るため、市町村と共催で市民活動団体マネジメント講座を実施します。	講座満足度80%

(2) 中間支援組織の機能強化支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
41 再掲	ボランティアセンター・市民活動支援センター等交流会の開催 (県民生活・文化課)	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催します。	開催 2回 参加人数各40名

No.	事業名	事業概要	実施目標
42	市民活動支援組織ネットワークによる中間支援組織の機能向上と連携強化 〔県民生活・文化課〕	市民活動支援組織の機能向上及び連携強化のため、県内の主要な市民活動支援組織の関係を構成員とする「千葉県市民活動支援組織ネットワーク」を運営し、支援組織に必要とされるノウハウや知識を習得するための研修を実施します。	ネットワーク会議等の開催 4回

(3) 民が民を支える仕組みの普及・支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
43	民が民を支える仕組みの普及・支援 〔県民生活・文化課〕	寄附文化の醸成と市民活動団体の資金調達に係る情報発信を行います。 また、令和元年度に運用を開始した国民の休眠預金等を公益的な民間活動に活用する制度について、HP、メルマガ等で情報発信する他、寄付月間の賛同パートナーとして、寄附をテーマとしたセミナーを開催します。	寄附・資金調達をテーマとしたセミナー開催 1回

4 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

行政、中間支援組織、市民活動団体、地縁団体、社会福祉協議会、学校、企業など多様な主体が連携・協働して行う地域の課題解決に向けた取組や仕組みづくりへの支援や、県行政と市町村行政間の情報共有などによる協働の推進を図ります。

【成果指標】

目標項目	現 状 (29年度)		H30年度	R元年度	R2年度
[指標4-1] 地域の様々な主体と連携している市民活動団体の割合	69.8% ¹	目標	70.0%	71.0%	72.0%
		結果	66.0%	66.7%	
		目標比	-4.0p	-4.3p	
		前年比	-3.8p	+0.7p	
[指標4-2] 市町村行政・県行政と市民活動団体との協働事業の件数	615件 ²	目標	625件	635件	650件
		結果	635件	632件	
		目標比	+10p	-3p	
		前年比	+20p	+3p	

1 千葉県NPO法人実態調査結果より

2 千葉県NPO・ボランティア関連事業一覧、県内市町村NPO・ボランティア関連事業一覧より
(千葉市は独自集計のため、件数に含まれていません。)

(1)地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
44	協働によるコミュニティづくりの普及・促進 〔県民生活・文化課〕	協働促進についての課題を抱えている地域等を対象に、市町村と地縁団体、市民活動団体、企業等が、協働による取組を検討する契機となるよう、有識者による講演や優良事例の共有等を行います。 また、各地で活動を行っている主体が、地域を超えた連携・協働につながる契機となるような意見交換会を実施します。	研修会又は意見交換会の実施 県内6地域
45	ちばコラボ大賞 〔県民生活・文化課〕	市民活動団体が地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等と連携(コラボレーション)して、それぞれの特性を活かしながら地域社会の課題解決に取り組んでいる事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例に取り組んでいる団体を表彰し、広く県民に周知することにより、連携による地域づくりの促進を図ります。	応募件数 15件以上(令和元年度7件) 表彰事例 3事例(令和元年度3事例)

No.	事業名	事業概要	実施目標
46	千葉県男女共同参画フェスティバル 〔男女共同参画センター〕	本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、県民が男女共同参画への理解を深める機会とするとともに、男女共同参画に取り組む民間団体と県民の交流の場を提供する「千葉県男女共同参画フェスティバル」を開催します。 フェスティバルの内容 ・企画運営委員会(ボランティア)の設置 ・講演会の開催 ・ワークショップの開催	開催 1回
47	地域福祉フォーラムの設置・活動の促進 〔健康福祉指導課〕	地域住民が、社会福祉協議会や民生委員・児童委員、NPO等地域福祉の担い手、更には福祉以外の各分野の人たちと協働して、地域における福祉等のあり方・取組みを考えていく組織である地域福祉フォーラムの設置を促進します。	新規設置数 基本 5箇所 小域 20箇所
48	防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業 〔くらし安全推進課〕	防犯ボックスのさらなる普及に向け、住民に最も身近な市町村が主体となり設置する防犯ボックスの初期費用や運営費について、助成します。 また、平成27年度までに県が設置した千葉市、柏市、船橋市の計3箇所の防犯ボックスについて、県が引き続き運営します。	新たな助成実施 2市町村
49	中小企業総合支援事業費補助金 〔産業振興課〕	千葉県の指定する地域産業資源を活用した新商品・新サービス等の開発及び販路開拓、県産農林水産物を使用した新商品・新サービス等の開発及び販路開拓に係る事業に対する助成を行います。	地域資源を活用、県産農林水産物を使用して新商品・新技術等を開発・事業化に取組む中小企業者等を支援し、地域産業の振興を図ります。
50	法人の森事業(法人の森協定) 〔森林課〕	社会貢献や環境活動を希望する企業や団体に対し、県有林の一部を「法人の森」として提供することで、CSR活動としての森林整備活動・森林環境教育活動をサポートします。	事業PR(ホームページ他)を行います。 協定締結 2件
51	里山活動の支援 〔森林課〕	景観維持や県土保全等の里山の持つ多面的機能を持続的に発揮するため、地域住民や企業、里山活動団体等の多様な人々の参画による森林整備活動が促進されるよう支援します。	里山活動団体や企業が整備・保全する森林面積を増やします。
52 再掲	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業 〔警察本部生活安全総務課〕	自主防犯活動に意欲のある若い世代(県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満)により若手防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」を結成し、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図ります。 また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施します。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。

4 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
53 再掲	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業 〔警察本部生活安全総務課〕	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施します。 その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催します。 さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施します。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。
54	千葉県警察学生サポーター「ChiPSS」活動 〔警察本部少年課〕	非行少年を生まない社会づくりの推進事業の一環として、少年の非行問題に関心があり、熱意と行動力を有する大学生を「千葉県警察学生サポーター」に委嘱(募集人員40人)し、警察、学校、地域と協働して、学習・スポーツ支援、居場所づくり等の立ち直り支援、街頭補導等の非行防止活動や健全育成活動を実施します。	少年の非行防止や健全育成活動を推進します。
55	少年補導員・少年指導委員活動 〔警察本部少年課〕	少年の非行防止及び健全育成を図るため、「少年警察ボランティア」を委嘱し、地域住民と協働した街頭補導活動や環境浄化活動等を推進します。	街頭補導活動や環境浄化活動等を推進します。

(2) 市民活動団体等と県行政・市町村行政の協働の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
56	市町村と市民活動団体との連携促進事業 〔県民生活・文化課〕	各市町村の協働に関する取組や市民活動支援センターの機能強化を支援するとともに、必要に応じ専門家の派遣等を行います。	派遣 6回
57	学校と市民活動団体との連携促進事業 〔県民生活・文化課〕	地域の民間教育力を活用した地域協働の活性化を図るため、教職員向けの講座を実施することにより、NPOと学校が連携するための環境づくりを促進します。	開催 1回
58	県・市町村推進会議の開催 〔県民生活・文化課〕	効果的なNPO・ボランティア施策形成に向けて、県と市町村が情報交換・意見交換等を行う推進会議等を開催し、県と市町村との一層の連携と協力を促進します。	県・市町村推進会議 開催2回 (内訳:担当課長会議:開催1回、担当者会議:開催1回)
59	パートナーシップ推進員会議の開催 〔県民生活・文化課〕	県庁内における市民活動団体及び市民活動推進施策に対する理解を促進し、協働の体制を強化するため、県行政の関係課職員を「パートナーシップ推進員」として指定し、推進員会議を通じて理解促進や情報共有を行います。	開催 2回